

感染症および健康管理に対する意識調査をバンコック、ジャカルタ、アムステルダムの3都市で、合計149の在留邦人世帯を対象におこなった。詳細は研究協力者の報告に譲るが、日本人の健康、衛生についての意識のレベルを知るうえで興味深い結果であった。

いわゆる学校伝染病のサーベイランス

高 倉 巖（東海大学小児科）

いわゆる学校伝染病の流行を予測し、その対策を考えるには、サーベイランスによるデータの積み重ねが不可欠である。東海大学病院の位置する神奈川県県央部の伊勢原市および隣接の秦野市では、学校伝染病が治癒に至って登校するときに、医師会で定められた治癒証明書を提出することになっている。したがって欠席した児童・生徒のうち、その理由がいわゆる学校伝染病によるものの数を確実に知りうるので、毎月末に各中学校、小学校、幼稚園、保育所（いずれも公立、私立をふくむ）から集計した数をまとめ、その成績をそれぞれの施設にフィードバックし、対策に役立てることを続けている。

今回今までの成績をふり返ってみて、興味ある点を2、3報告する。

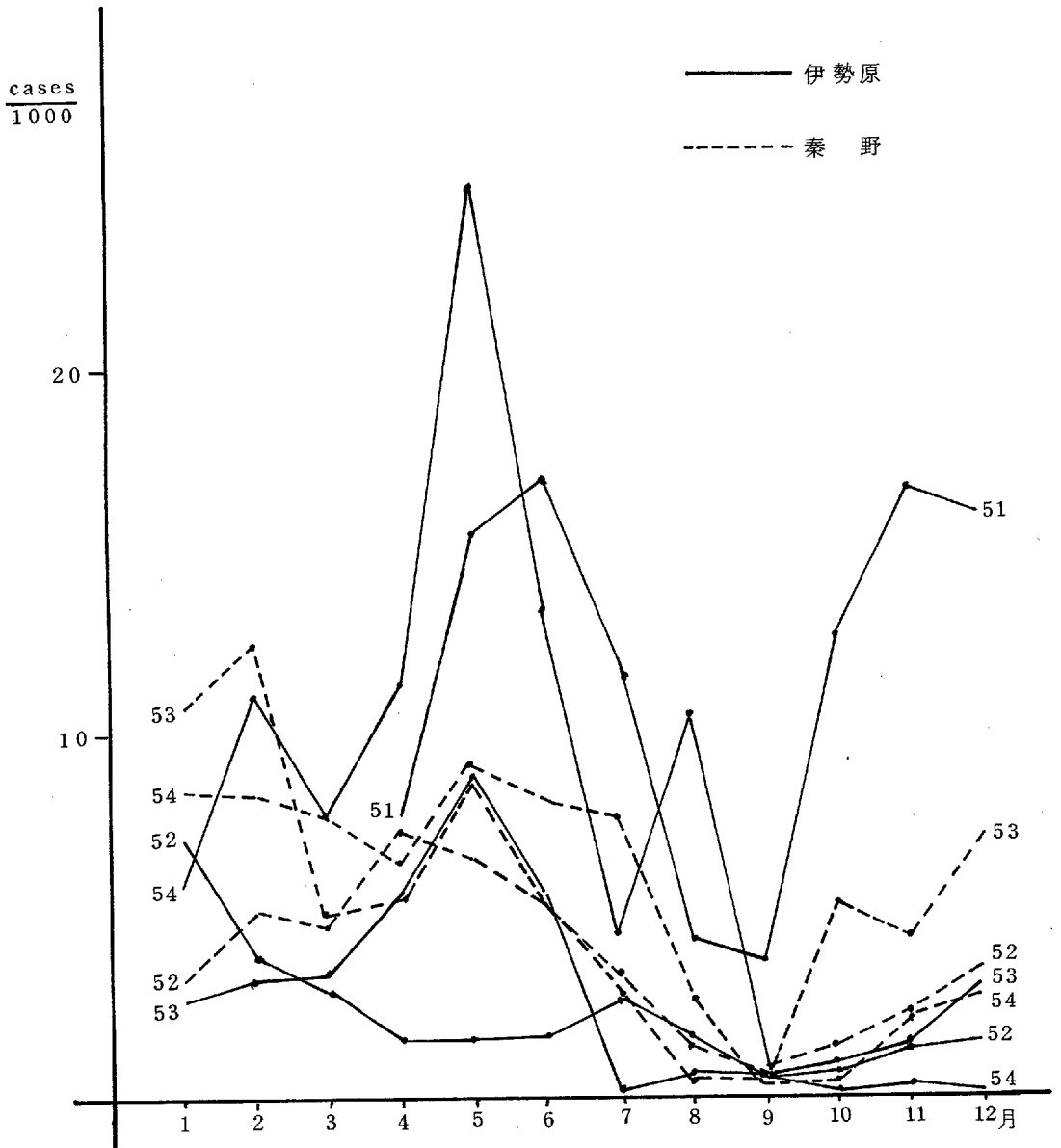
両市は隣接していながら、各種疾患の流行時期、様式にかなりの差があることが図に示したムンプスおよび水痘の月別発生よりみても明らかである。報告の対象となった生徒、児童数100に対する患者数を図にしてある。

麻疹はムンプスおよび水痘と比較するといちじるしく減少しており、麻疹ワクチンの普及が大きく影響しているためと思われる。表に示すごとく、54年の患者数は約35,000の小児を対象としている調査で172例にすぎない。ことに目立つのは罹患年齢の低くなったことで、幼稚園あるいは保育所に通園していない幼児は本調査からもれているにもかかわらず、就学前児の罹患の多いことが明らかである。別途おこなった罹患年齢調査でも、ピークは1歳児（伊勢原市25.2%、秦野市23.3%）にあり、6歳以降の罹患は全患者の約3%にすぎなかった。

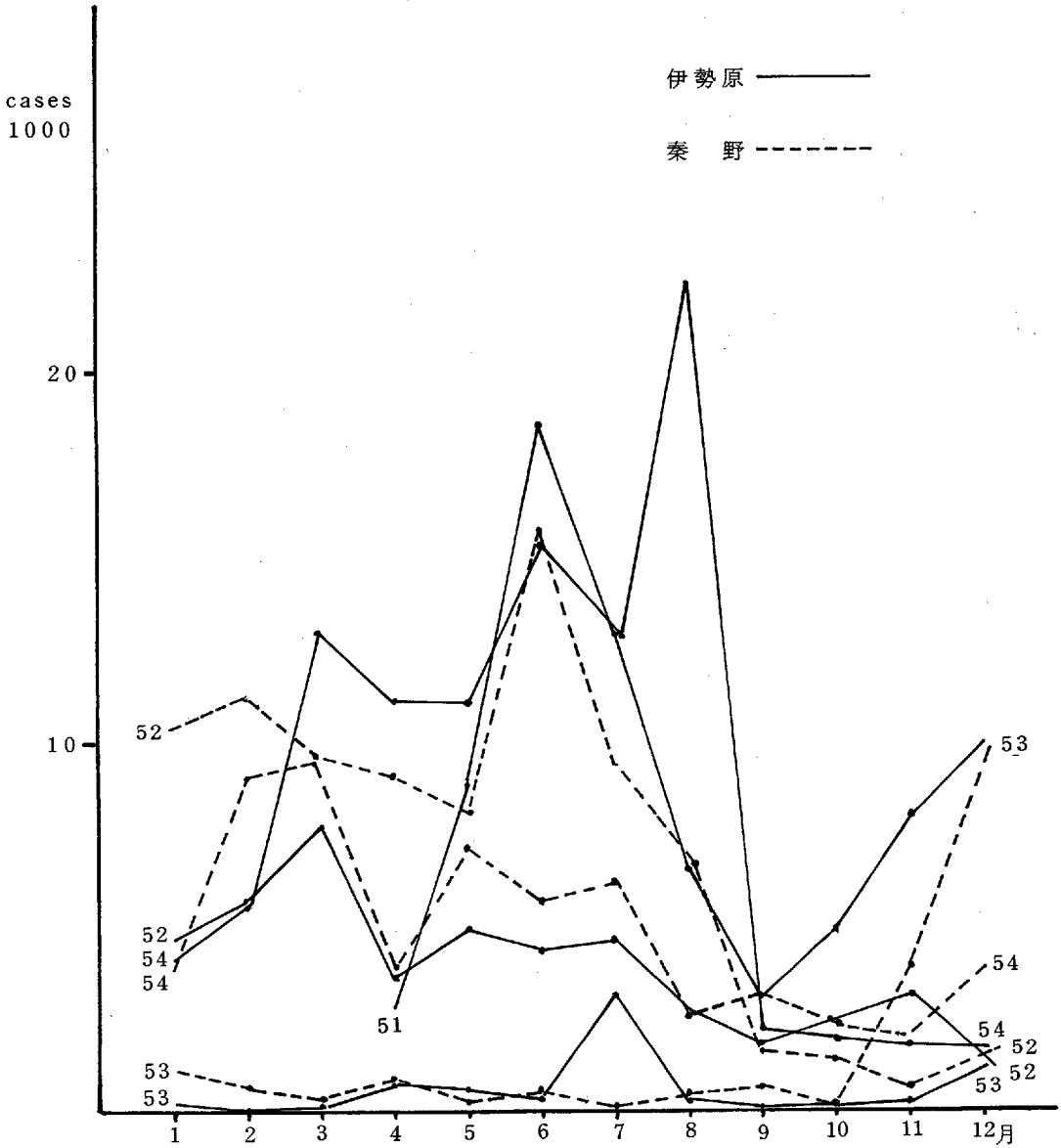
手足口病の流行様式が昭和54年の流行が以前のように短期間に多発するものでなく、少数例がだらだらと続くことは、東京その他でも観察され、原因ウィルスの差によるものとされているが、伊勢原、秦野両市においても図に示すごとき患者発生を認めている。なお昭和52年には当地域では流行は観察されていない。

感染症のサーベイランスは単に集計だけではその意義は少なく、その情報がフィードバックさ

水痘の月別発生



ムンプス月別発生

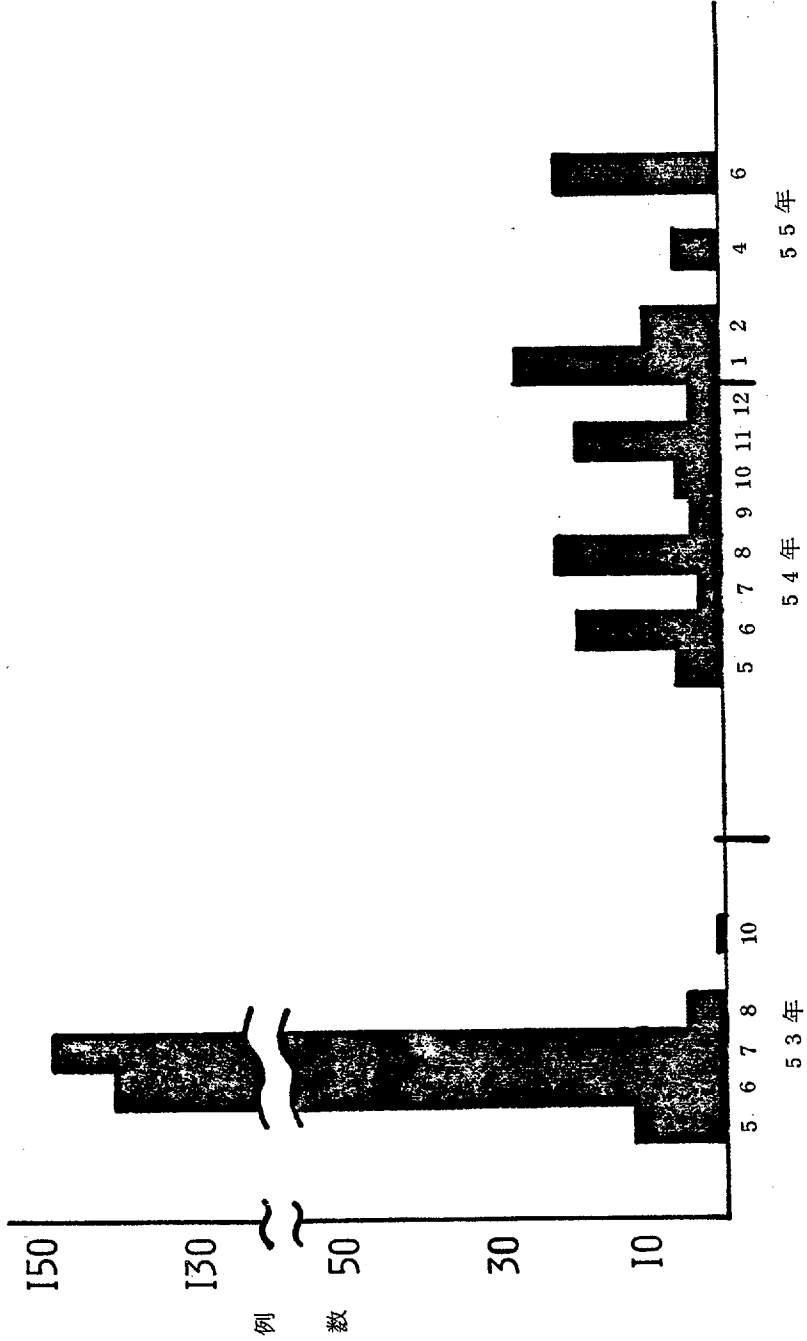


麻疹患児の年齢分布（神奈川県伊勢原市・秦野市）

（＊…幼稚園・保育所に通園していない幼児は除外されている）

| 年 | 伊勢原市 | | | 秦野市 | | | 就学前幼児* 全例 | % |
|----|------|-----|------------|-----|-----|------------|--------------|------|
| | 中学生 | 小学生 | 幼稚園 保育所 | 中学生 | 小学生 | 幼稚園 保育所 | | |
| 51 | 1 | 31 | 134 | 0 | 18 | 119 | 253/303 | 83.5 |
| 52 | 0 | 29 | 51 | 1 | 33 | 123 | 174/237 | 73.4 |
| 53 | 0 | 68 | 252 | 2 | 22 | 114 | 366/458 | 79.9 |
| 54 | 0 | 9 | 23 | 2 | 50 | 149 | 172/233 | 73.8 |
| 計 | 1 | 137 | 460 | 5 | 123 | 505 | 965/1231 | 78.4 |

手足口病の月別発生数
 (伊勢原市・秦野市 昭和53-55年)



れることによって、周辺での流行状況を知り、感染のまん延に対する策を構じられるようにすることが重要であるといえる。

在外邦人の医療および健康に関する意識調査

白坂 龍 曠（東京女子医大寄生虫）

高倉 巖（東海大小児科）

海外に在留する日本人は近年いちじるしくその数を増し、家族を帯同するものも増加してきた。これら邦人が現地での医療にいかに対応しているか、医療、健康に関してどのような点に不安をいただいているかを知る目的で調査を行なった。

調査はバンコック、ジャカルタの2都市でおこない、対象の意味でアムステルダムを追加した。調査方法は次に示すときアンケートを小児をもつ邦人家庭に配布し集計した。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



いわゆる学校伝染病の流行を予測し,その対策を考えるには,サーベイランスによるデータの積み重ねが不可欠である。東海大学病院の位置する神奈川県県央部の伊勢原市および隣接の秦野市では,学校伝染病が治癒に至って登校するときに,医師会で定めた治癒証明書を提出することになっている。したがって欠席した児童・生徒のうち,その理由がいわゆる学校伝染病によるものの数を確実に知りうるので,毎月末に各中学校,小学校,幼稚園,保育所(いずれも公立,私立をふくむ)から集計した数をまとめ,その成績をそれぞれの施設にフイードバックし,対策に役立てることを続けている。